

さぬき野

かがやくけん、かがわけん。

香川県

2025 No.89

夏

瀬戸内国際芸術祭2025 夏会期

この夏、感性の旅へ。



特集
東山魁夷の絵画の中へ。

知事対談
デザイナー コシノジュンコ × 香川県知事 池田 豊人

ヒト×モノ 讃岐デザイン
オーブを愛した島切子。

SETOUCHI
TRIENNALE
2025

「はじまりの刻」三宅之功（小豆島）



「生涯、自分らしくパティシエを」 おやつ工房mogmog 香西 悠さん

高松市の商店街活性化事業で知り合った人が、せっかくの腕を生かしてと空店舗の厨房を貸してくれた。そこが「おやつ工房mogmog」のスタート。



家の一室を工房に。ここに入るとパティシエのスイッチが入る。

焼いて朝を迎えることもあった。東京の製菓学校に進学。卒業後はウエディングケーキ作り、イタリア菓子店のパティシエ、企業のカフェ事業プランナーと、約10年洋菓子に携わる。その時期に結婚が決まると「仕事は大好きだけど、家庭を築くには地方がいい」と感じ始めた。移住支援機関を訪ねて住む場所を探すうち、夫の故郷である香川県が心を占めてくる。以前、夫の実家を訪ねて初めて瀬戸大橋を渡った時、島々が点在する穏やかな瀬戸内海を見て「こんなに美しい景色が日本にあったのか」とただただ感動。あの海があれば

育てが落ちて着く今からは、自分発信のお菓子も少しずつ充実させていきたい。子供が巣立ったら、お店も持てたら。目標は「はるばあちゃんのクッキー屋」を開き、生涯パティシエとして働くこと。家族と洋菓子とともに歩む未来は、朗らかにおいしそうだ。

おやつ工房mogmog
香西 悠さん

千葉県出身。2018年高松市へ移住。子ども時代は、西は静岡県から北は北海道まで、各地を転々とした。長野県に住んでいた中学時代、作家の森村桂が営む軽井沢の「アリスの丘」のケーキに出会い、本格的にパティシエ志望に。



高松市街地のスペシャルティコーヒー専門店「ラボレームス」で、香西さんの焼いた季節のケーキが食べられる。



さぬきのイタリア菓子を詰め込んだクッキー缶「mogmogの宝箱」は、ラボレームスとネットで販売。香川県産の小麦粉、塩、卵、レモン、イチゴパウダー、日本酒を使用。

「さぬきの夢」など、地元素材を使った「さぬきのイタリア菓子」を作っているという心を決めた。アルバイトで菓子店に勤め、商店街の活性化事業に参加した後、現在は子育てしながら、自宅に構えた工房で顧客の要望に寄り添った菓子を焼いている。余裕があればネット販売も行う。「子育てが落ちて着く今からは、自分発信のお菓子も少しずつ充実させていきたい。子供が巣立ったら、お店も持てたら。目標は「はるばあちゃんのクッキー屋」を開き、生涯パティシエとして働くこと。家族と洋菓子とともに歩む未来は、朗らかにおいしそうだ。」

見知らぬ土地でも元気でいられる、と高松市に移住を決めた。おいしい小麦粉とたくさん種類の果物があり、穏やかに日々を楽しむ人がいる。住んでみると、香川は、東京で大好きな師匠に伝授してもらった、イタリア菓子が似合うと感じた。町の人々のおやつ時間を想像しながら、讃岐うどん用に開発された小麦粉

香川に住んで
はじめたこと



屋島の戦いで知られる那須与一をイメージした高松市牟礼町のキャラクター「与一くん」のクッキー。牟礼コミュニティセンターで販売中。

香西さんが洋菓子好きになったきっかけは、子どもの頃、毎年家族といっしょに誕生日ケーキを焼いたこと。いっしょに菓子作りが夢中になり、中高生時代は夜な夜なクッキーを焼いて朝を迎えることもあった。東京の製菓学校に進学。卒業後はウエディングケーキ作り、イタリア菓子店のパティシエ、企業のカフェ事業プランナーと、約10年洋菓子に携わる。

香川県情報誌
さぬき野 2025 夏
No.89



香川県に関する問い合わせ

- 香川県広聴広報課 〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 TEL087-832-3078
- 香川県のホームページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/>
- さぬき野のページ <https://www.pref.kagawa.lg.jp/kocho/kocho/sanukino.html>
- 香川県東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3都道府県会館9階 TEL03-5212-9100
- 香川県大阪事務所 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-18-24クロスシティ心斎橋4階 TEL06-6281-1661

多言語電子書籍でもご覧いただけます。
無料アプリ「カタログポケット」をインストールして「さぬき野」で検索してください。

iOS



Android



かがやくけん、かがわけん。

香川県




アートが 感性を開く、 香川の夏。

アートによって島や海辺の町の美しさを発見し、
思いがけないインスタレーションに価値観を揺さぶられる。
瀬戸内国際芸術祭では、自然のおおらかさと
現代アートの創造性が心地よく響き合って、
忙しい日々の中で閉じていた感性が解き放たれていく。
旅を楽しみながら、感性を養うことができるのが、何よりの魅力である。
今回の夏会期では、はじめて香川県東部にまでエリアが拡大し、
新たな交流拠点となる直島新美術館が開館する。
どこに行くか、何を見るか、さらに選択肢が広がった。
この夏は、島とアートを巡る旅で、心を自由に遊ばせたい。

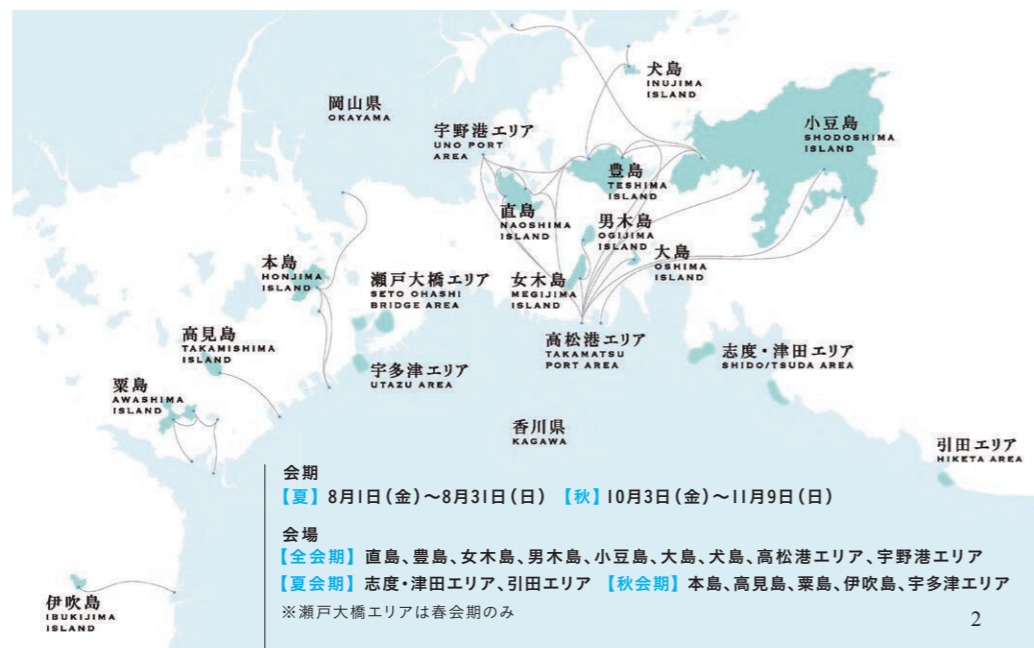


小豆島行きフェリーの展望デッキより

瀬戸芸を
楽しむなら
公式アプリが便利。



主要スポットへの経路検索や作品情報のほか、会場の混雑状況をリアルタイムで知ることができる。また、「作品鑑賞パスポート」もアプリから購入可能。会期中、芸術祭の参加作品(施設)を各1回鑑賞でき、パスポート1枚で有料作品のほとんどが鑑賞可能となる。(一部、別料金の作品や美術館等あり)



直島に新しい美術館が開館。

直島新美術館

直島新美術館は、ベネッセアートサイト直島における10番目の安藤忠雄氏設計のアート施設である。地下2階・地上1階の3層構造を持ち、日本を含むアジアのアーティストの代表作や特別制作の作品を展示・収集する。直島に点在する複数の美術館の交流拠点として、国内外へ多様な視点や社会的メッセージを発信し、新たな出会いや創造を生み出す場を目指す。美術館のロゴデザインは祖父江慎氏が手掛けた。祖父江氏は地中美術館や豊島美術館のロゴもデザインしており、柔軟なデザインに仕上がっている。

※瀬戸内国際芸術祭会期外も開館



直島新美術館のイメージ ©Tadao Ando Architect and Associates



海水浴とは違う楽しみ方ができる。



各会場周辺の 観光情報



心に残る風景が広がる。

時の納屋

瀬戸内海に突き出た大串半島の先端にある広場で、建築家の堀部安嗣氏が手掛けた絶景のカフェ。海側の窓を全面開放することで目の前に広がる風景は、サイズや縦横比にこだわり、最も美しく切り取ることでできる額縁として堀部氏が用意したものである。まさに時間を忘れるほどの美しさ。



地元の味覚を味わうこともできる。



EAST SIDE KAGAWA

はじめての東部へ。

今回の瀬戸内国際芸術祭では、はじめて香川の東部地域が会場に加わった。香川県東部は、近年、新しい観光資源が登場している注目のエリアである。作品の鑑賞と合わせて、周辺の観光も楽しみたい。



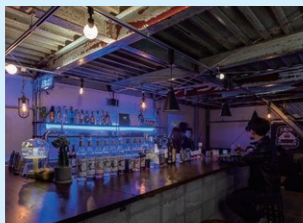
大串半島(さぬき市)

エリアの 注目作品



ウラツダ

さぬき市津田町、日本の渚百選に選ばれたビーチ「津田の松原」の中心部から北西に外れた一帯が「ウラツダ」と呼ばれて活気付いている。私設図書館であり、ゲストハウスでもある「うみの図書館」をはじめ、20代、30代の若者によるユニークな店が集まり、新しいムーブメントを発信している。



雑貨店、ピッツェリア、バーなど多彩な店舗がある。

讃州井筒屋敷

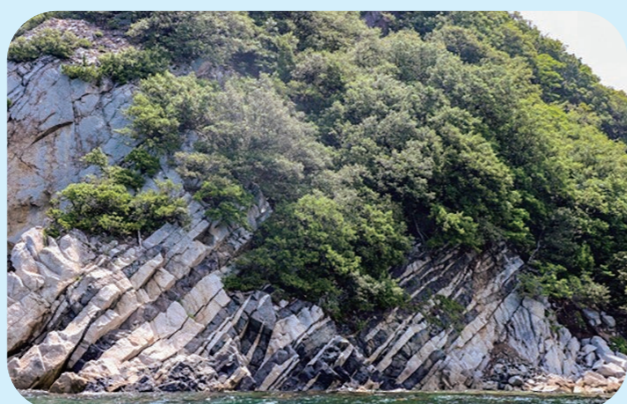
江戸時代からの古い家並みが残されている東かがわ市引田。その代表が、醤油醸造業を営んでいた「讃州井筒屋敷」。現在は食や体験を楽しめる観光スポットとしても知られている。ここでは、地元の特産品である和三盆の型抜き体験ができ、夏には和三盆を使ったかき氷で涼を取ることもできる。



東かがわ市自慢のやさしい甘味、和三盆を使ったかき氷



懐かしさを感じる井筒屋敷の庭



鹿浦越のランプロファイア岩脈

ジオサイトクルーズ

東かがわ市の海岸には、国の天然記念物に指定されたランプロファイア岩脈や柱状節理など、地質学的な名所・ジオサイトがある。陸地側からは分かりにくいジオサイトを海上から楽しむためのツアーがジオサイトクルーズである。5月上旬～10月上旬の土日祝日限定で開催しており、2時間ほどのクルーズとなる。



ジオサイトクルーズの写真は東かがわ市観光協会提供

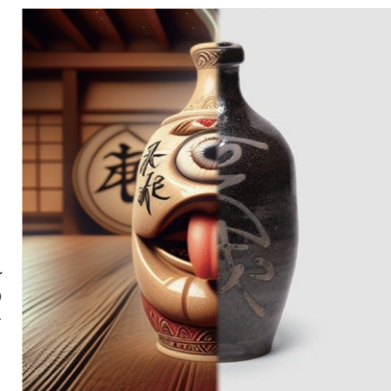


波の浸食で生まれた一子島の海食洞



時間との対話

ケイトリン・RC・ブラウン&ウェイン・ギャレット
津田の松原から着想した作品。メガネレンズを使ったインスタレーションで、海や森の時間と人々の時間を融合させる。
【志度・津田エリア】



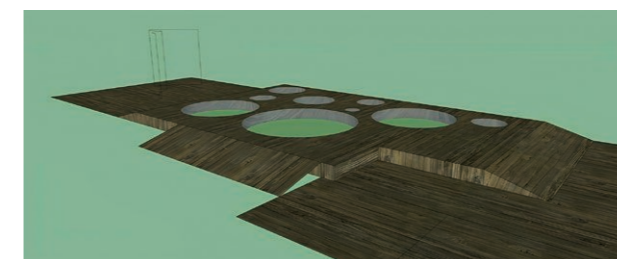
注がれる魂

ニール・メンドーザ
道具に宿るといわれている霊・つくも神の姿が、レンズを通して現れる。
【志度・津田エリア】



Echoes as Air Flows

寛康明
目に見えない気流や息によって、目の前で、あるいは土地を隔てて作品が応答し、変化する。
【志度・津田エリア】



KASAYAソーシャル/パフォーマンス・スペース+アートワーク ラックス・メディア・コレクティブ

床に埋め込まれた桶から放たれる光は、空に浮かぶ月の動きに呼应し、絵具や版画でつくられた微生物の世界の質感が現れる。
【引田エリア】



みんなの手 月まで届く 手袋を編もう!

レオニート・チシコフ
手袋の生をめぐるインスタレーションのひとつ。人々の人生や思い出を表す古着の布地を用いて、地域の人たちが編んだ作品。
【引田エリア】



高松港

高松沖の島々および高松港エリアでは、今回の夏会期で初登場となる作品に注目したい。会期中、高松港周辺では、海沿いで展開されるベトナムプロジェクトを中心に、異国情緒あふれる雰囲気生まれる。

各島 & 高松港エリアの注目作品



ベトナムプロジェクト

今春完成したキャッスルプロムナードにベトナムマーケットが登場。ここに集まるのは、ベトナムの食、工芸、デザインなど、さまざまなジャンルの文化と芸術。香川県立ミュージアムで行う現代美術作品の展示会と連動しながら、ベトナムで暮らす人々の日常のエネルギーを伝える。



【高松港エリア】

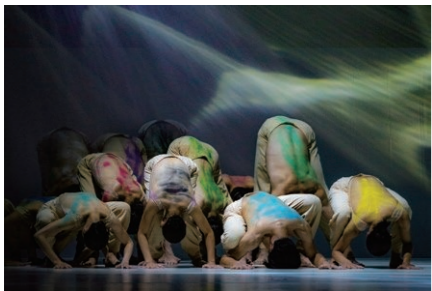
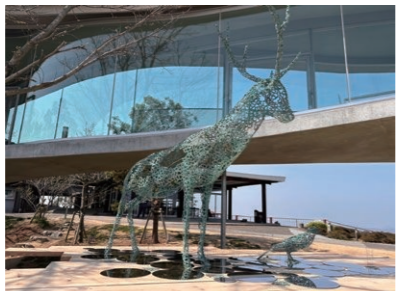


Photo: LIU Chen-hsiang

Sounding Light 雲門舞集

代表的なダンス作品を四国ミュージアムの農村歌舞伎舞台に合わせた特別バージョンで上演。
【高松港エリア】



西島雄志「鹿-Rin-」

屋島アートどうぶつ園 一海と森のむこうがわ

屋島山上の交流拠点「やしまーる」を舞台に、9名の作家が独自の目線で表現した動物をモチーフとした立体作品を展開する。

【高松港エリア】



©bozzo

素晴らしい偶然をむすんで

きょうかくうしお
8/8(金)～10(日)の3日間、「コミュニティとは何か」を模索する作家が、過去から未来へつながる「祭り」を開催。
【男木島】



(作品イメージ)

国境を越えて・祈り リン・シュンロン【林舜龍】

2016年に小豆島で制作した子どもの像が、豊島に帰ってくる。子どもたちは潮風に吹かれながら、世界の幸福と平穏を祈る。

【豊島】

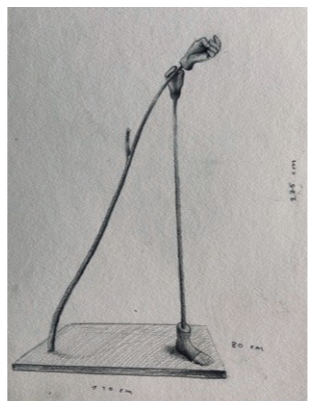


Photo: Shintaro Miyawaki

UNHCR×瀬戸内国際芸術祭 SONGS—ものが語る難民の声 ホンマタカシ

ホンマタカシが難民の住まいなどを訪問し、避難生活の中でも手放さなかった「大切なもの」を写した。

【高松港エリア】



(作品イメージ)

枝と杖(支えあうことのモニュメント) ニキータ・カダン

作家が、大島の資料館で「お互いの心を強く支えていくような共同体の精神」に感銘を受けて制作した作品。

【大島】



周辺エリアの取り組み

津田を舞台にした絵本を制作して 地元の魅力を伝える。



「漂流雑貨店」は、うみの図書館で貸し出しているほか、高松オルネのシェアラウンジで手に取ることもできる。

作家の絵をウラツダの藍染工房「Khimaira(キマイラ)」で藍染め作品に仕上げ、それを表紙の原画としている。



さぬき市津田町の「うみの図書館」は、図書館と宿泊施設とカフェが一体となった複合施設で、ウラツダエリアの交流拠点である。同館では、地元が舞台となった瀬戸内国際芸術の開催に合わせて、絵本「しゅっこう!漂流ざっかてん」を制作した。

ツーとダーの兄弟が船の雑貨店で冒険をする物語の中に、ウラツダにある店舗や名所をモチーフとしたシーンが詰め込まれている。本作は、絵本作家のけしろうまいさん、おおざりかなさんの共作。二人を津田に招き、体験を通して構想を練ってもらったという。作品鑑賞を含めて、津田エリアでの観光や滞在がより楽しくなる一冊である。



館長の鍋木さん。「ウラツダ」と呼ばれる海岸沿いエリアの活性化に一役買っている。

さぬき市と東かがわ市を 結ぶ無料バス

初めて芸術祭の舞台となるさぬき市と東かがわ市は、香川県東部の魅力や新たなアート作品を存分に楽しんでいただきたいと、両市の連携により会場をつなぐ無料シャトルバスを走らせる。冷房が効いたバスで快適に隣町まで移動することができる。



小豆島一引間で期間限定の船を運航

瀬戸内海を旅する船にとって風待ちの港として知られてきた東かがわ市引田。今では定期航路や観光船は停泊しないが、瀬戸内国際芸術祭夏会期中の土日祝日は、小豆島坂手港からの臨時航路を設ける。普段はない航路でめったに見ることができない瀬戸内海の風景も目にする事ができる(1日1便完全予約制)。



臨時航路の港となる引田漁港の長堤防には、「東かがわ市湾岸アートプロジェクト」として壁画が描かれている。



ラウンジから海側のテラスに出ることができる。海風に吹かれながら鑑賞の余韻に浸ろう。



2階展示室は、ゆったりと落ち着いて作品を鑑賞できる。

谷口は、美術館に至るアプローチが魁夷の代表作「道」に似たことに、完成後に気が付いたという。アプローチ周辺には、海の景観を遮るように木々が植えられている。



東山魁夷は、山や溪谷など自然の風景を描く日本画家だ。静謐な中に優しいまなざしのある画風で愛され、昭和を代表する国民的画家といわれた。魁夷の名が付く美術館は全国に4館あり、その一つが瀬戸大橋のたもとに建つ「香川県立東山魁夷せとうち美術館」である。魁夷の逝去後、遺族から香川県に作品の寄贈を受けたことに伴い、2005年に開館し、今年20周年を迎えた。版画作品を中心に300点以上を収蔵しており、年4回のテーマ作品展などで企画に合わせて公開している。

美術館の設計者は谷口吉生。ニューヨーク近代美術館の増改築をはじめ、国内外11のミュージアムを設計している。美術館建築の名手と呼ばれ、2024年末に惜しまれながら他界した。

谷口は、同じ建築家である父、吉郎の時代から魁夷と親交があり、その絵画を深く理解した。この美術館では、まずシナリオを作って動画の構成を組むように美術館を設計するという、谷口ならではの魁夷の世界が展開される。

鑑賞は入館前からスタートする。森のように茂るニレやクスノキ、オリーブに囲まれ建物へと斜めに向かうアプローチは、魁夷の代表作「道」を思わせる。周囲の木々も、種類や本数まで指示した谷口建築の一部なのだ。

ロビーは、凜としたモダンリズムに貫かれている。余計なものを省いた空間は、気持ちを一直線に展示室へと向かわせる。

1階展示室は天井の高さ約6メートルの大きな



静かに時間を過ごしたくなるラウンジにはカフェも。美術館のある沙弥島は谷口の父、吉郎が設計した歌碑もあり、谷口家にとっても縁のある土地なのだ。

香川県立東山魁夷せとうち美術館 開館20周年 東山魁夷の絵画の中へ。



建物は水平垂直のラインが美しい2面の壁で構成され、パーモントグリーンの天然石に覆われている。

香川県立東山魁夷せとうち美術館

香川県坂出市沙弥島字南通224-13
TEL 0877-44-1333

開館20周年を迎えてリニューアルされ、作品に合わせて自在に色調調整の可能なLED照明や、キャッシュレス決済の導入など、より快適に利用できるようになった。20周年記念に作られた、緑の外壁をイメージした、香川県特産の和三盆の菓子「緑景」をカフェで販売中。



吹き抜け空間。天井を低く抑えたロビーから進むと、空間の広がり胸がすく。2階にある細長い展示室には、約25メートルにおよぶ展示壁面があり、二つの展示室は階段でつながっている。

作品を鑑賞した後、2階から1階のラウンジに下りると、突如、海と島々と瀬戸大橋が延びる景色に迎えられる、心がときめく。数々の風景画を見た後には、光に包まれた自然の美がより鮮やかに感じられるのだ。

この景色の中にある櫃石島は魁夷の祖父、新吉の故郷。魁夷は本名の新吉を祖父から受け継いでおり、家族のルーツがある瀬戸内の穏やかな景色に特別な愛着を抱いていた。また瀬戸大橋の色には、魁夷の提案でライトグレーが採用された。魁夷という人物の歴史まで見せてくれるこの絶景は、美術館最大の作品ともいえるだろう。

森の中のまっすぐな道を進み、さまざまな風景を経て、海へ。東山魁夷せとうち美術館では、魁夷の絵画のその奥にある物語を旅するような、豊かな時間が待っている。



知事対談 コシノジュンコ × 池田 豊人
KOSHINO JUNKO IKEDA TOYOHITO

未来につながるデザインと言葉。



も丸い不思議な形ですよね。建築物と言うより、何かの新しい存在だと思っんです。

知事 アリーナのちようど正面にある女木島とよく似た形でもあります。

コシノ 自然の島の形と重なるわけですね。未来のデザインって何だろうと考えたときに、私は直線的な数字だけでは計り知れない、不思議なものが未来だと思っんですよ。大阪・関西万博の会場にも円形のデザインが目につき、話題の大屋根リングも円形ですよ。万博の建物は、終われば取り壊されてしまいます。でも、アリーナはずっとあの場所にあります。海につながるあの場所に。ですから、万博に來られた皆さんにも、香川のアリーナの存在はもつとアピールすべきだと思っましたね。香川県にはアートの島・直島もあつて、美を求める人には見逃せない県ですよ。

知事 なるほど、海でつながる曲線の美しいアリーナ。これは大いに世界に発信すべきですね。話は変わりますが、コシノさんが書かれた「デザイン

美しいものや心は言葉で伝えることも大切。

デザイナー コシノジュンコ

大阪府生まれ。文化服装学院デザイン科在学中、新人デザイナーの登龍門といわれる装苑賞を最年少の19歳で受賞。東京を拠点として、1978年から2000年までパリ・コレクションに参加。世界各地でファッションショーを開催し、様々なイベントのプロデュースを行う。衣装やユニフォーム、インテリアや花火のデザインなども手掛けており、活動分野は幅広い。2017年に文化功勞者に選ばれ、2021年にはフランス政府よりレジオン・ドヌール勲章シュバリエを受勲、翌2022年には旭日中綬章を受章。令和7年3月にあなぶぎアリーナ香川で開館記念イベントとして「BUDO ET MODE」をプロデュース。

の原点」という本を読ませていただき、「対極の美」と「引き算」という言葉が心に残りました。

コシノ 「BUDO ET MODE」のテーマも武道とモードという対極でしたが、対極という言葉を見つけたのはもう30年ぐらゐ前のこと。例えば東洋と西洋。どちらが良いではなくて、違う感性の両方があるからバランスが取れる対極の美ですよ。5対5のシンメトリーでなくても、8対2でも9対1でもいいんですよ。1があるから9

コシノ 塗り物という平面的な感じがしますが、これは立体的な美しさですね。香川漆器という名前だけでは伝わらないので、立体塗りと呼ぶとか、何か言葉で伝えることが必要ですね。

言葉で広がり、だんだんイメージが定着しますよね。漆は海外では「ジャパン」と呼びます。漆はジャパンそのもの。その漆の立体的な表現というのは独特ですよ。

知事 香川県には県立の漆芸研究所があり、若い研究生が、さまざまな作品作りに意欲的にチャレンジしています。講師陣には人間国宝がお二人もいて素晴らしい作品が生まれています。やはり、時代に合わせた言葉で表現し、PRすることが必要なんですよ。言葉といえば、連続テレビ小説の主人公にもなったコシノさんのお母さん。そのお母さんから引き継いだ言葉の数々がありますね。

コシノ 「向こう岸、見ているだけでは渡れない」って母が書いてあつた言葉を、たまたま見つけて。その言葉が自分の生活の役にも立ち、いつ

コシノさんの言葉で香川もますます輝きます。

香川県知事 池田 豊人

も前向きになれました。母は教会で洗礼を受けていて、最期に私に残されたのは「与うるは受くるよりも幸いな」という新約聖書の言葉でした。週刊誌のインタビューを受けて語つた遺言なのですが、「もらうより与える方が得や」と、大阪弁で書かれてありました。

知事 デザインや絵画のみならず自身の著書も出版され、言葉でも多くの人に力を与えているコシノジュンコさん。今回は、香川県のアリーナや漆にも素晴らしい言葉のエールやアドバイスをいただきました。今後とも、香川県をよろしくお願ひいたします。

が生かされる。色で言うとも暗ですね。明るい色と暗い色、昼と夜。引き算はね、感性だと思っんですよ。引き算は日本的な料に通じます。アートも埋めれば良いというものがなくて、どこで引き算をするかというのがアートの感性ですね。

知事 そのバランス感覚で創り上げる伝統美もあります。香川県には、カラフルな漆器があり、水の箱や高級時計の文字盤、椅子の装飾など、現在の生活に生かせるものをいろいろ模索しています。江戸時代から香川で生まれた3技法「蒔繪」「存清」「彫漆」。例えば、「彫漆」は各種の色漆を数十回から数百回塗り重ね、その色漆を彫り下げることによって文様を浮き彫りにします。しかし、この素晴らしい技がうまく伝わりません。

知事 日本を代表する世界的なトップデザイナーのコシノジュンコさんに、香川県に誕生したあなぶぎアリーナ香川(香川県立アリーナ)において、開館記念イベントをプロデュースしていただき、感謝しています。和のデザインを取り入れたモードなファッションと、日本の精神文化でもある武道の世界観が融合したエンターテインメントショー「BUDO ET MODE」は実に素晴らしい、アリーナの誕生で新たな文化の風が巻き起こるのを実感しました。

コシノ アリーナの映像を見て、空から眺めると日本でも一番美しい建造物じゃないかと思っました。実際に見て、一目で好きになりましたよ。希望や未来へのビジョンを感じました。それにし

オリーブの島として知られる小豆島。その島を代表するスポット「オリーブ公園」を見下ろす高台に、「KJ工房」はある。KJは、Kirkko J'adoreの略。J'adoreは、フランス語で「大好き」という意味。また、工房の主、啓二さんの名前にも重なる。

石川さんは大阪で生まれ、大学院を卒業後は東京でIT企業に就職。59歳の時に趣味で江戸切子を始めた。普通は10年かかると言われるが5年ほどで独り立ちし、退職を機に妻の実家がある徳島県に移住し工房を開く。その2年後には小豆島にも工房を構えた。「妻の友人に誘われたのがきっかけだったが、すぐに小豆島が気に入って離れ難くなりました。」と石川さん。今は、オリーブをモチーフにした作品に取り組んでいる。学生時代からオリーブが大好きで、何にでもオリーブオイルをかけて食べるという。淡く輝くオリーブの葉も大好きで、考えてみればオリーブとの縁は深いと語る。

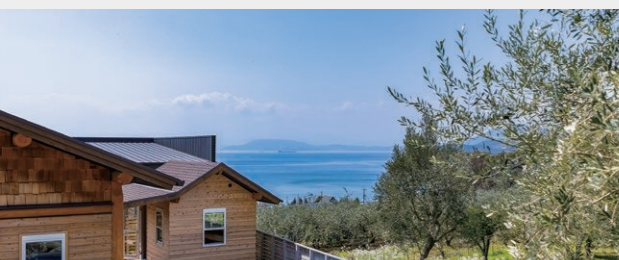
切子硝子は、ホイールと呼ばれる金属製の砥石でガラスを削り模様を作る。その溝の形状や線の浅い深いでさまざまな形が生まれる。職人によって得意な模様があるというが、石川さんの刻むオリーブは、すっと伸びた枝やオリーブ公園でも話題になっているハート型の葉、優しく浮かび上がるオリーブの実が特色だ。このために特注のホイールを注文したという。

オリーブのデザインを与えてくれた小豆島に恩返しをしたいと石川さんは語る。島には、日本酒やワインの醸造所もある。そうした地元企業と協力することはもちろん、オリーブの模様を多くの人に知ってもらい、島の知名度を上げたいと願う。また、小豆島観光の一つとして切子硝子の体験教室も行っている。現在は徳島と小豆島の2拠点生活だが、近い将来は小豆島に永住したいと準備中だ。

江戸切子は、江戸時代後期に江戸で始まり、秘密には江戸（東京）で作られた切子硝子を指す。そこで、石川さんは小豆島で生まれる作品たちを「島切子」という名前で広めたいと考えている。瀬戸内海を望む工房で生まれ、あるいは磨かれるオリーブの島切子。島の風景のように人々を癒やすシンボルになる日を夢見ている。



切子クリエイター
石川啓二
1956年 大阪府生まれ
2015年 東京の江戸切子工房に通いカット技法を習得すると共に、手磨きの技術を独自に研究。
2019年 退職して徳島へ移住、切子の製作を行うKJ工房板野店をオープン。
2021年 KJ工房小豆島店をオープン。世界最大級の国際デザインコンペティションA' Design Award & Competition 2021において「清流」がBronze Awardを受賞。
2022年 「一輪ランプ」がIron Awardを受賞。
2023年 「躍動」がSilver Awardを受賞。
2024年 オリーブの葉をモチーフにした「絆」がBronze Awardを受賞。



オリーブが立ち並ぶオリーブ公園を眼下に、その向こうには瀬戸内海が輝く、癒しの地にある「KJ工房」。

オリーブの島の陽光を浴びる工房で、特注のホイールを使いオリジナルの模様を刻む。やがて光と影のアート作品が生まれる。



2025年夏頃から再開したいというカフェでも使う予定のオリーブ柄のオリジナルカップ。



オリーブを愛した島切子。

切子硝子 × 石川啓二

切子クリエイター

輝く海を背景に、そよ風が吹き渡るオリーブ畑。誰もが癒やされる島の風景の中で刻まれた切子硝子。その作品は、イタリアのミラノで開催された国際的なデザインアワードで5年連続入賞に輝く。島と切子硝子、その魅力的な組み合わせに引き寄せられ、小豆島の工房を訪ねる。

オリーブの葉のみならず、愛らしい実が優しく浮かび上がる。表面がかまぼこ形で幅広いのホイールを使い、技を駆使して、楕円形の実を削り出す。

世界最大級のデザインコンテストA' Design Award2025で、新作「オリーブの輝き」がSilverAward(シルバーアワード)を受賞。これにより5年連続入賞を果たした。



香川・愛媛 せとうち旬彩館

KAGAWA EHIME SETOUCHI SHUN SAI KAN 東京・新橋 アンテナショップ

1F特産品ショップ、2F郷土料理レストラン、観光情報コーナーで香川の旬をぜひどうぞ。

香川丸亀ブランドフェア～丸亀初夏の味覚～ (6月25日(水)～7月1日(火))



隠れた桃の名産地! 香川県丸亀市の飯南の桃をお届けします。また、骨付鳥はもちろん、丸亀市産の自慢の新鮮野菜もお持ちします。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、丸亀自慢の品をご堪能ください。(主催:丸亀市)

楽しさ
目白押し!

1F 1階イベントコーナーでは、香川・愛媛の事業者等が週替わりで、地域色豊かな催しを行っていますので、ぜひ来店ください。

期間	香川県事業者のイベント内容(出展事業者)
7/9(水)～15(火)	小豆島土庄町特産品フェアとして、そうめんのほか、小豆島初物のワイナリーが手掛けるワインを販売します。(土庄町)
7/23(水)～29(火)	手袋老舗メーカーが和紙糸を継ぎ目のない無縫製で編んだ和紙素材のリッチな靴下を販売します。(株)橋輝(東かがわ市)
8/6(水)～12(火)	8月10日はヤドンの日!今年も「うどん県×ヤドンフェア」を開催し、多彩なヤドン商品を販売します。
8/20(水)～26(火)	善通寺市の魅力発見!観光PR&物産展として、特産品の「讃岐もち麦ダイシモチ」を使った焼酎、カレー、お菓子を販売します。(善通寺市観光協会)
9/3(水)～9(火)	オリーブの島・小豆島からオリーブの木、果実、葉を余すことなく使った食品、化粧品、雑貨が大集合します。(小豆島ヘルシーランド(株))
9/17(水)～23(火)	ひまわりの里まんのう町フェアとして、ひまわりの種から採れたオイルや、ドレッシング、焼酎などを販売します。(株)グリーンパークまんのう)

2F 季節折々の香川の旬の食材を使ったメニューを提供!

郷土・せとうち料理「かおりひめ」では、うどんや骨付鳥、オリーブ牛のステーキなどの定番メニューはもちろん、季節ごとに、ランチ・ディナーのそれぞれで香川の旬の食材を使ったメニューを提供します。今夏も季節限定の香川のメニューで皆さまのお越しをお待ちしています。

〒105-0004 東京都港区新橋2-19-10新橋マリンビル1・2階
https://www.setouchi-shunsaikan.com
香川県・愛媛県共同アンテナショップ運営協議会 TEL03-3574-2028

さぬき野 夏 No.89 令和7年6月15日発行
企画・発行:香川県広報課
編集・制作:(株)中国四国博覧会

瀬戸内の島々を舞台に、3年に1度開催される「瀬戸内国際芸術祭」。アートに精通していない私でもガイドブックを見ていると胸がときめきます。のんびりアートを巡りながら、島々の美しい景色、文化に触れて、新しい出会いのある夏にしたいです。 編集長

香川を盛り上げるやぁん 「ヤドンパラダイス in 香川 2025」

今年も「うどん県PR団」として活躍中のポケモンの「ヤドン」が香川県を盛り上げます。

現在開催中の「ヤドンパラダイス in 香川 2025」では「ヤドンといっしょ!香川めぐり旅」として、ヤドンと関係する宿泊施設や公共交通機関(「ヤドンのお宿」や「ヤドンのタクシー」など)と寒霞渓や栗林公園といった県内の観光スポットを巡るスタンプラリーを開催中です。スタンプを集めて応募すると、抽選で豪華賞品が当たります。

この他にも、イベントなども開催予定です。詳細については特設サイトおよび公式Xをご確認ください。

【問い合わせ】(公社)香川県観光協会 TEL087-832-3379
特設サイト: <https://yadon.my-kagawa.jp>
公式X: https://twitter.com/Udonken_Yadonbu

©Pokémon. ©Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.



特設サイト



公式X

香川県産品の魅力発信イベント 「ガーデンプロムナードフェスティバル」



新たに整備された「サンポートガーデンプロムナード」を活用し、香川の食や工芸品などの販売、体験型のイベントを開催する「ガーデンプロムナードフェスティバル」。

毎回、キッチンカーの出展やワークショップ、伝統芸能の披露など、様々なイベントを実施しています。香川の魅力的なものが発見できる「ガーデンプロムナードフェスティバル」へ、ぜひお越しください。

【開催日時】毎週日曜日午前10時～午後3時
※さぬきマルシェinサンポート開催日および8月を除く年25回程度
【会場】サンポートガーデンプロムナード
【問い合わせ】香川県産品振興課 TEL087-832-3383



開催日は
公式インスタを
Check!



讃岐のオの花たち

第49回全国高等学校総合文化祭 (かがわ総文祭2025)いよいよ開幕!

全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の祭典、「かがわ総文祭2025」が7月26日にいよいよ開幕します。現在、生徒実行委員会を中心に着々と準備を進めているところです。



会初日には、あなぶきアリーナ香川で総開会式が行われた後、玉藻公園北側の水城通りで、瀬戸の海と島々を背景にマーチングバンドの演奏やパトントワリングによるパレードが繰り広げられます。また、吹奏楽、美術・工芸、ロボット、応援など23部門で、全国の高校生が香川に集い、舞台発表や展示、競技などが県内各地で開催されます。全国トップクラスの高校生によるパフォーマンスと、6日間に凝縮した高校生の青春、オの花たちが讃岐に咲きわたる姿をぜひ、香川県にお越しいただきお楽しみください。

【開催期間】令和7年7月26日(土)から7月31日(木)

【問い合わせ】
香川県教育委員会事務局全国高校総合文化祭推進室
TEL087-832-3772



大会マスコットキャラクター「さぬぼん」



公式HP

瀬戸内国際芸術祭2025県内連携事業 「くるりアートかがわ」実施中

香川県では、瀬戸内国際芸術祭と併せて、香川県の文化芸術に関するイベントをデジタルスタンプラリーで楽しむことができる「くるりアートかがわ」を実施しています。

スタンプを集めることで、香川県産品や瀬戸内国際芸術祭の公式グッズが抽選で当たります。

瀬戸内国際芸術祭と香川県の文化芸術に関するイベントを存分に楽しむことができるこの機会を、ぜひお見逃しなく!

【問い合わせ】
香川県瀬戸内国際芸術祭推進課
TEL087-813-0865
<https://setouchi-artfest.jp/visit/kururi/>



五色台にそびえ立つ「れきみん」 瀬戸内海歴史民俗資料館が重要文化財に指定されました!

景勝地・五色台の山の上に、1973年に開館した瀬戸内海歴史民俗資料館。この地で採れた石を積み重ねた外壁や、自然の地形に合わせて立体的に配置された正方形の展示室など、自然との調和にこだわった本資料館は建築物としての評価も高く、日本建築学会賞をはじめ、建築界から多くの評価を得ています。そして昨年(2024年)12月には、ついに国の重要文化財に指定されました。1970年代に造られた建造物としては初の快挙で、まさに今、大きな注目を集めています。令和7年度は指定記念事業として、講演会やPRイベントも開催予定です。瀬戸内国際芸術祭の作品番号も付与されている「れきみん」へ、ぜひ一度お越しください。



公式Xでも最新情報を発信中! <https://x.com/PrefSetorekishi>

【問い合わせ】瀬戸内海歴史民俗資料館 TEL087-881-4707



公式HP

(注)掲載のイベントは、中止または内容に変更が生じることがあります。